

平成29年1月27日(金)・28日(土)



新校舎建設マスタープラン等説明会



【問い合わせ先】

立川市教育委員会 教育総務課

042-523-2111(内線:2474)

- I 統合の経過・スケジュール等
- II アンケート結果等
- III 検討委員会での主な検討項目
- IV 学校づくりの理念・建設方針(案)
- V 配置案
- VI (平成30年度からの)仮設校舎について

I 統合の経過・ スケジュール等

I -1 統合の経過

請願について

平成27年3月議会 に「けやき台小学校と若葉小学校の統合及び新学校建設に関する請願」が提出され、採択された。



児童数及び学級数の推移と就学予定者数推計

平成32年度にけやき台小は301人(11学級)、若葉小は278人(11学級)となるが、8年後の平成35年度には両校合わせた児童数(7歳～12歳人口)は480人まで減少することが予想される。平成32年度では両校ともにほぼ適正規模に近づくが、平成35年度以降は両校ともに小規模校となることが予想される。

立川市の「基本的な考え方」や文部科学省の「手引」における適正規模を保つことは難しく、「統合を含めて環境を検討する」状況となる。



2校を統合することにより、小規模校による様々な課題の解消につながるため

けやき台小学校と若葉小学校を統合すること(平成27年9月10日教育委員会決定)

けやき台小学校の土地に新校舎を建設すること(平成27年9月18日市長決定)

I-2 新校舎移転までのスケジュール

マスタープラン作成～新学校設立

区 分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
建替え・マスタープラン	作成					
基本設計・実施設計		基本・実施設計				
地域説明会		マスタープラン・設計説明				
若葉小学校へ一時移転(新校設立)						
仮設教室 (不足する教室分)		仮設建設	若葉小学校を使用し授業実施 (この時点でけやき台小学校と若葉小学校を閉校し、新たな学校としてスタートする。)			仮設解体
新学校建設(建替え)	改修		校舎解体	建替え工事(2年)		移転

平成30年4月に新学校設立。
平成33年4月に移転。

新生小学校の設立時と同様に2校の児童が平成30年度に若葉小を使用した時から「新学校」とする。その後、平成33年度に建替えた校舎へ移転する。

I -3 今までの検討状況など

区 分	検討状況
新校舎建設マスタープラン	平成28年8月から、学識経験者、公募市民、地域団体からの推薦があった方、学校長などで構成する新校舎建設マスタープラン検討委員会を6回開催し検討してきた。 また、保護者アンケートやワークショップ、教職員へのヒアリング調査を行い、これらの意見を反映し、学校の配置案を作成した。
通学路の安全対策	警察や学校関係者、市関係部署などで構成する通学路安全対策検討委員会にて、児童の通学時の安全対策のため、通学路の実地調査などを行い、五日市街道の横断箇所などについて検討してきた。
新学校の校名等	新校名の募集(応募144件)は終了し、現在、校名の選定に入っている。今後は、新学校設立検討委員会で絞り込み、教育委員会で選定後、議会の議決を得ることとなっている。 校歌、校章等は、新校開校後に決定していく。
教育課程	平成30年度からの統合がスムーズにできるよう、平成29年度の教育課程や年間行事についての調整をしている。両校の教員を中心に検討し、小学校同士の連携や、中学校区内の連携をさらに進めていく。
わかばっ子の発行	統合状況をお知らせするおたよりとして、今まで3回にわたり発行。今後も逐次お知らせしていく。

Ⅱ アンケート結果等

アンケート結果について

対象者	回収数	児童数	回収率（％）
けやき台小学校児童及び保護者	249	494	50.4％
若葉小学校児童及び保護者	106	243	43.6％
合計	355	737	48.2％

対象者	回収数	家庭数	回収率（％）
けやき台小学校児童及び保護者	249	397	62.7％
若葉小学校児童及び保護者	106	193	54.9％
合計	355	590	60.2％

対象者	回収数	対象者数	回収率（％）
団体代表者	14	26	53.8％

対象者	回収数	対象者数	回収率（％）
全て（児童数+団体代表者数）	369	763	48.4％
全て（家庭数+団体代表者数）	369	616	59.9％

アンケート結果について

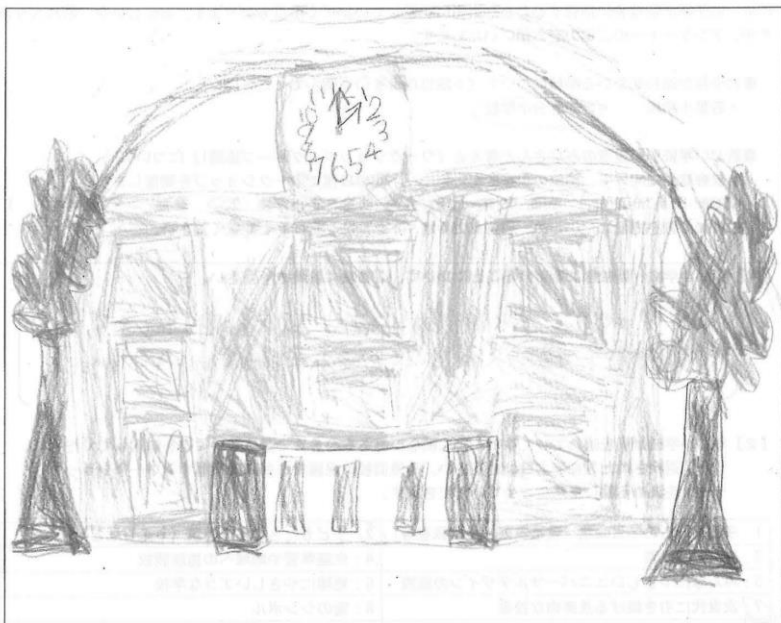
アンケート及びワークショップにて出された意見について

- ① テーマ：校舎の配置と屋外学習環境の充実
広い校庭、水はけの良い校庭、遊具の充実、校舎に近い菜園や畑の設置、校庭の芝生化、プールの改築、動物とのふれあい、山やトンネル等遊具の充実、屋上を校庭として補助利用、校庭に出やすいつくり、紫外線防止の日除け
- ② テーマ：学習環境の充実・子どもたちが集える場・発表できる場
授業の際に集中できる学習環境(隣の教室の音が聞こえない)、図書室の充実、特別支援学級の充実、環境について考える事が出来る学校、目の行き届くつくり、開放的な教室づくり
- ③ テーマ：居心地のよい生活空間・安心安全な学校
学校に行くことが楽しくなる様なデザイン、廊下幅の広い校舎、子どもたちの収納の充実、エアコンの設置、トイレ等の衛生設備の充実、明るい校舎、木質化でぬくもりのある校舎、体格差に応じた設備、バリアフリーな校舎、空が見える教室、広く感じられる工夫
- ④ テーマ：学校を支える地域ボランティアの場・防災拠点の整備等
同窓会室の設置、お年寄りの憩いの場、地域の方が使える部屋、地震や災害に強い学校、コミュニティの場所、地域利用について不特定多数の方が出入りすることに対する不安がある、朝の校門が開くまでの敷地内の待機スペース

アンケート結果について

【お子さまへ】

みんなの新しい学校がこんな校舎になればいいなという、みんなの考えを書いてね。
絵を描いてもいいよ。



●アンケートの回答方法は、以下の①または②の方法でお願いいたします。

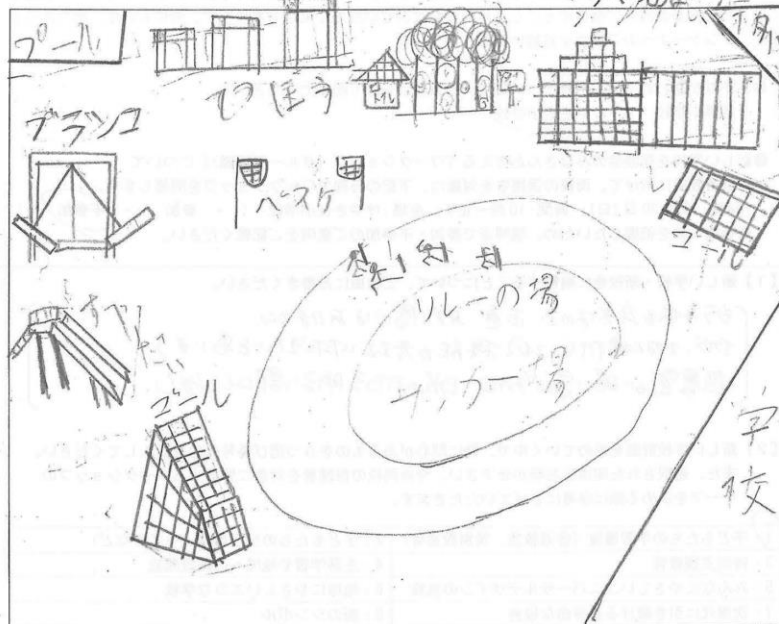
- ① アンケートが入っていた封筒に封入し、お子様を通して学校（担任の先生）へ提出する。
 - ② 教育委員会事務局教育部 教育総務課宛てにFAX（042（528）-1204）する。
- アンケートの回答は9月30日までお願いいたします

ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先：
立川市教育委員会事務局教育部教育総務課
042-523-2111（内2474）

【お子さまへ】

みんなの新しい学校がこんな校舎になればいいなという、みんなの考えを書いてね。
絵を描いてもいいよ。



●アンケートの回答方法は、以下の①または②の方法でお願いいたします。

- ① アンケートが入っていた封筒に封入し、お子様を通して学校（担任の先生）へ提出する。
 - ② 教育委員会事務局教育部 教育総務課宛てにFAX（042（528）-1204）する。
- アンケートの回答は9月30日までお願いいたします

ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先：
立川市教育委員会事務局教育部教育総務課
042-523-2111（内2474）

楽しい学校で!!

(図書室のみんなを)
明さん

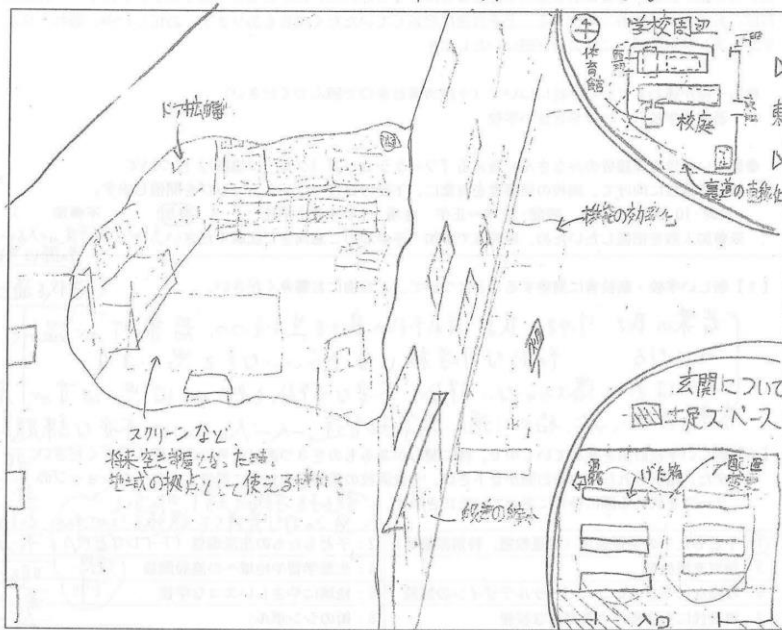
アンケート結果について

【お子さまへ】

みんなの新しい学校がこんな校舎になればいいという、みんなの考えを書いてね。
絵を描いてもいいよ。



6年生の息子が描きました。♡



●アンケートの回答方法は、以下の①または②の方法でお願いいたします。

- ① アンケートが入っていた封筒に封入し、お子様を通して学校（担任の先生）へ提出する。
- ② 教育委員会事務局教育部 教育総務課宛てにFAX (042(528)-1204) する。

アンケートの回答は9月30日までお願いいたします

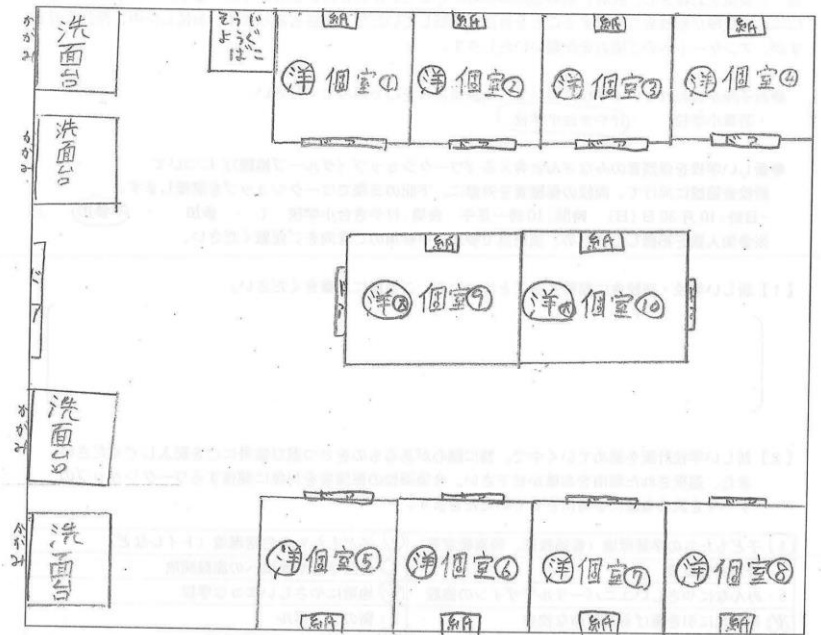
ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先：
立川市教育委員会事務局教育部教育総務課
042-523-2111 (内 2474)

「若葉会館」のような施設も、ももスペース的に組みこめるのであれば、入れるのも一つかな、と思います。（現在の若葉会館が、使いづらいという話と近所のご年配の方からよく聞くので...）

【お子さまへ】

みんなの新しい学校がこんな校舎になればいいという、みんなの考えを書いてね。
絵を描いてもいいよ。



●アンケートの回答方法は、以下の①または②の方法でお願いいたします。

- ① アンケートが入っていた封筒に封入し、お子様を通して学校（担任の先生）へ提出する。
- ② 教育委員会事務局教育部 教育総務課宛てにFAX (042(528)-1204) する。

アンケートの回答は9月30日までお願いいたします

ご協力ありがとうございました。

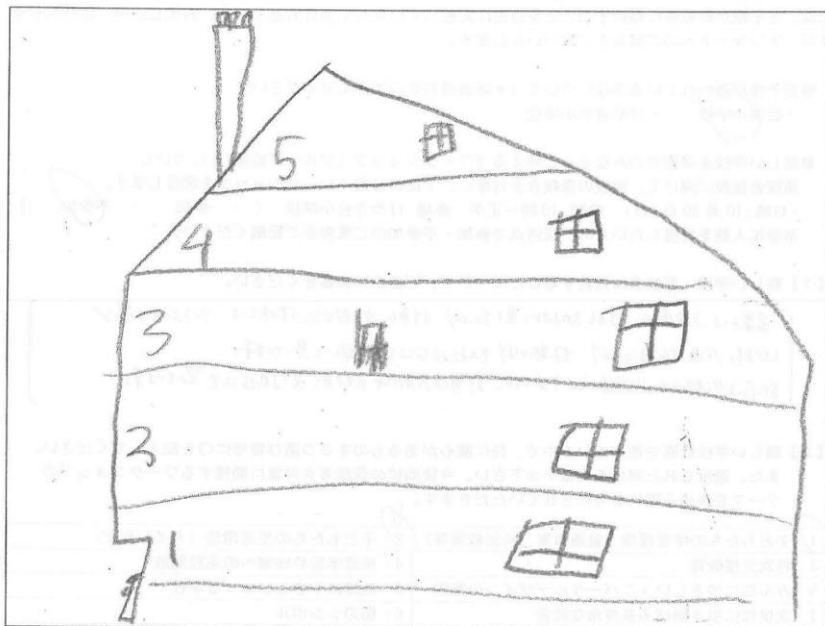
問い合わせ先：
立川市教育委員会事務局教育部教育総務課
042-523-2111 (内 2474)

「消臭効果のあるトイレに！
個室のていぶくにはそれぞれに電気をとりつけ、明るいトイレに！
なるべく洋室に！（和室だとうがいがはみでる可能性があるので）
ウェットをうけてください（ベランダの温度も調節できる）」

アンケート結果について

【お子さまへ】

みんなの新しい学校がこんな校舎になれば
いいという、みんなの考えを書いてね。
絵を描いてもいいよ。



●アンケートの回答方法は、以下の①または②の方法でお願いいたします。

- ① アンケートが入っていた封筒に封入し、お子様を通して学校（担任の先生）へ提出する。
- ② 教育委員会事務局教育部 教育総務課宛てにFAX (042(528)-1204) する。

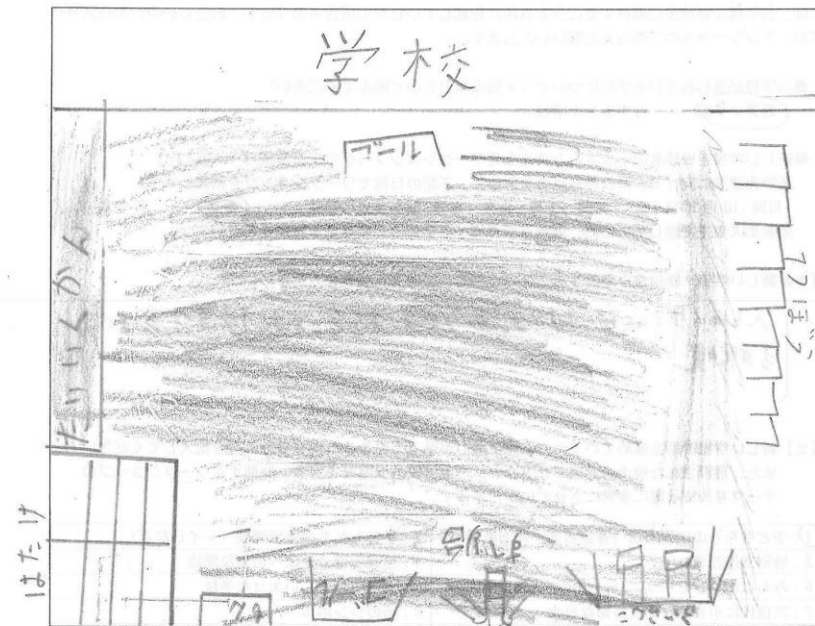
アンケートの回答は9月30日までにお願いいたします

ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先：
立川市教育委員会事務局教育部教育総務課
042-523-2111（内2474）

【お子さまへ】

みんなの新しい学校がこんな校舎になれば
いいという、みんなの考えを書いてね。
絵を描いてもいいよ。



●アンケートの回答方法は、以下の①または②の方法でお願いいたします。

- ① アンケートが入っていた封筒に封入し、お子様を通して学校（担任の先生）へ提出する。
- ② 教育委員会事務局教育部 教育総務課宛てにFAX (042(528)-1204) する。

アンケートの回答は9月30日までにお願いいたします

ご協力ありがとうございました。

問い合わせ先：
立川市教育委員会事務局教育部教育総務課
042-523-2111（内2474）

Ⅲ 検討委員会での 主な検討項目

敷地をどう捉えたか

敷地をどう捉えたか。

- ・敷地北側の交差点が「人・自転車・車」で混雑
- ・北側にある門を登校時に使っていない現状

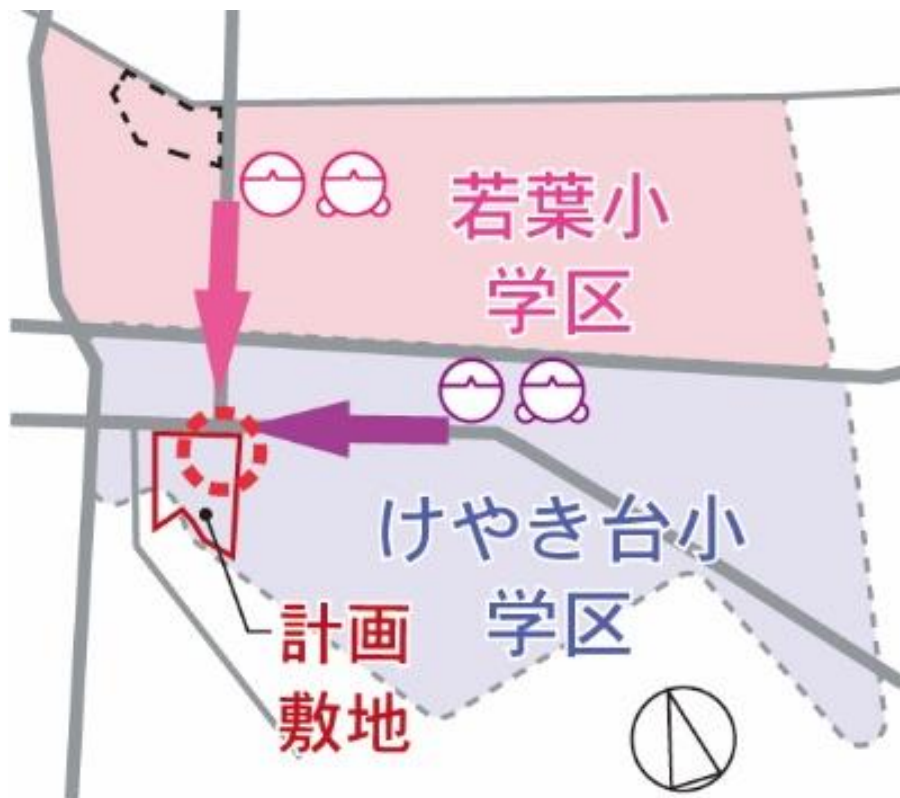


敷地をどう捉えたか。

- ・敷地北側の交差点が「人・自転車・車」で混雑
- ・北側にある門を登校時に使っていない現状

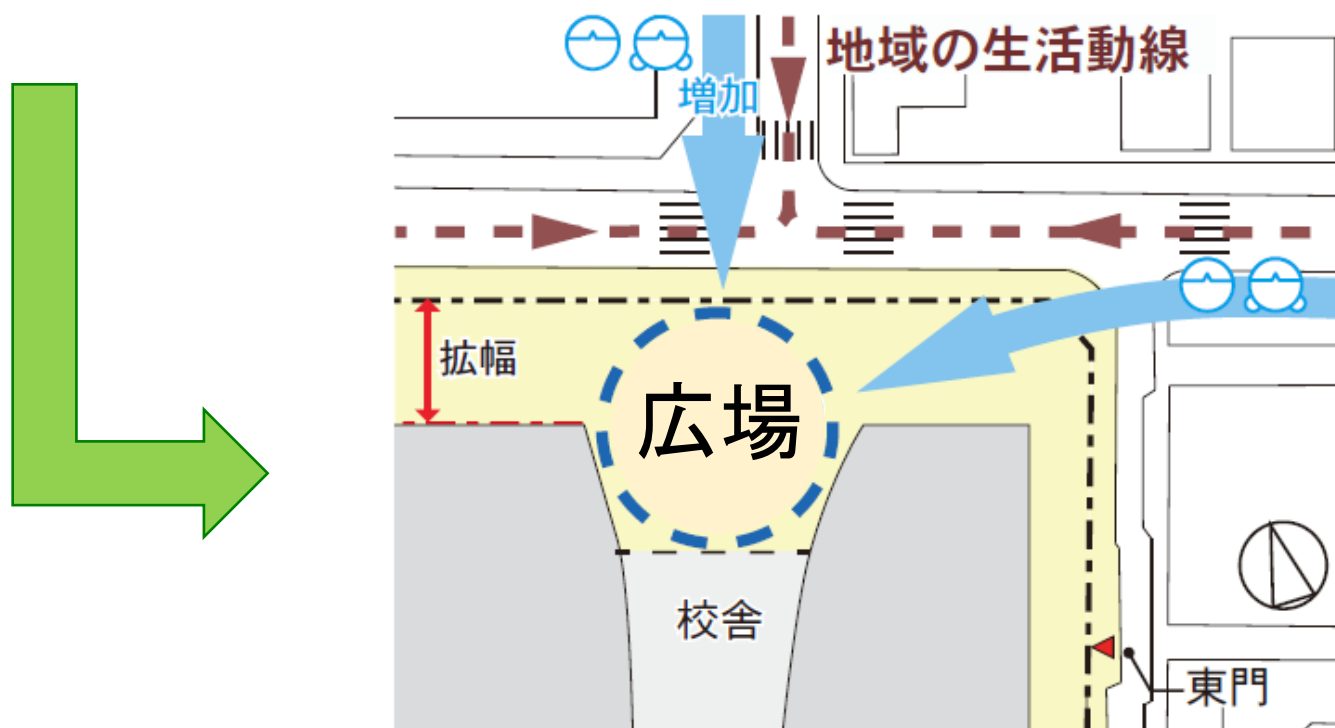
+

- ・統合により、若葉地区からの児童が増加



敷地をどう捉えたか。

- ・敷地北側の交差点が「人・自転車・車」で混雑
 - ・北側にある門を登校時に使っていない現状
- +
- ・統合により、若葉地区からの児童が増加



敷地をどう捉えたか。

「広場」＝安全なアプローチ空間



若葉
ケヤキモール

写真や図はプロポーザル提案資料のイメージです

校舎の配置をどう考えたか

校舎の配置をどう考えたか



既存の敷地

校舎の配置をどう考えたか

航空写真による概算面積算定です。



若葉小

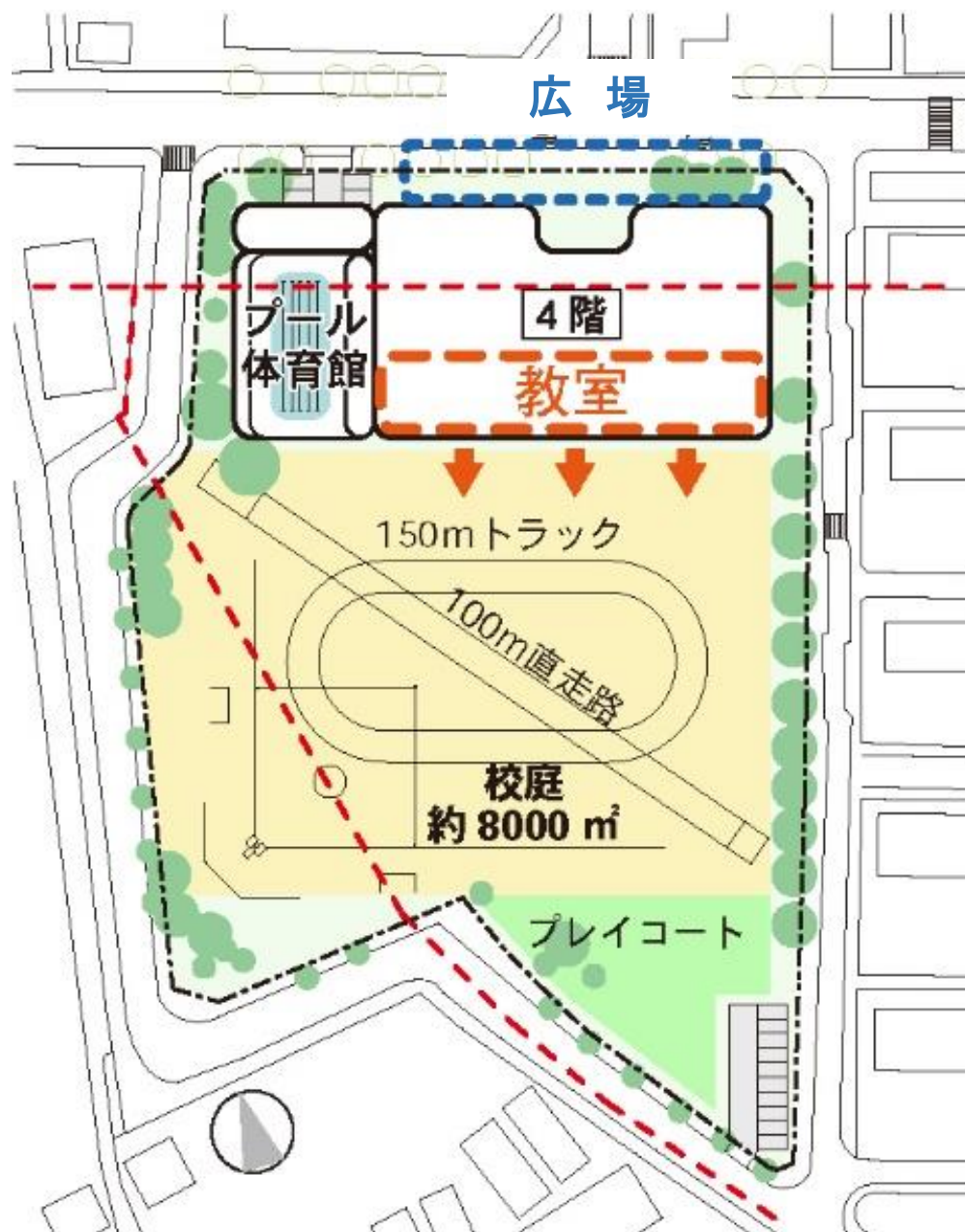


けやき台小



A案: 4階校舎

校舎の配置をどう考えたか



プールの比較検討

プール

①現在のプールを改修する場合	②現在地に新規にプールを建設する場合	③体育館の上にプールを配置する場合
		
コストがかからない		地上スペースを拡張できる
校舎と距離がある	校舎と距離がある	コストがかかる 体育館の天井高さに影響する
校庭と連携した水利の利用	校庭と連携した水利の利用	校庭と連携した水利の利用 落差を利用した採水

¥36,000千円

¥64,000千円

¥113,500千円

プール

③体育館の上にプールを配置する場合	④体育館の上にプールを配置し屋根を架ける場合	⑤体育館を二階に設置し、プールを地上階に設置する場合（温水プール）
		
地上スペースを拡張できる	地上スペースを拡張できる プールを使用する期間が延びる	地上スペースを拡張できる プールを使用する期間が延びる
コストがかかる 体育館の天井高さに影響する	コストがかかる 体育館の天井高さに影響する	イニシャルコストがかかる メンテナンスコストがかかる 体育館の天井高さに影響する
校庭と連携した水利の利用 落差を利用した採水	校庭と連携した水利の利用 落差を利用した採水	校庭と連携した水利の利用

¥113,500千円

¥243,500千円

¥332,000千円

体育館

体育館

□他校との体育館サイズの比較

若葉小学校

16,000

$$16.0 \times 24.77 \\ = 396.32 (\text{m}^2)$$

ステージ

けやき台小学校

15,500

$$15.5 \times 25.0 \\ = 387.5 (\text{m}^2)$$

ステージ

第一小学校

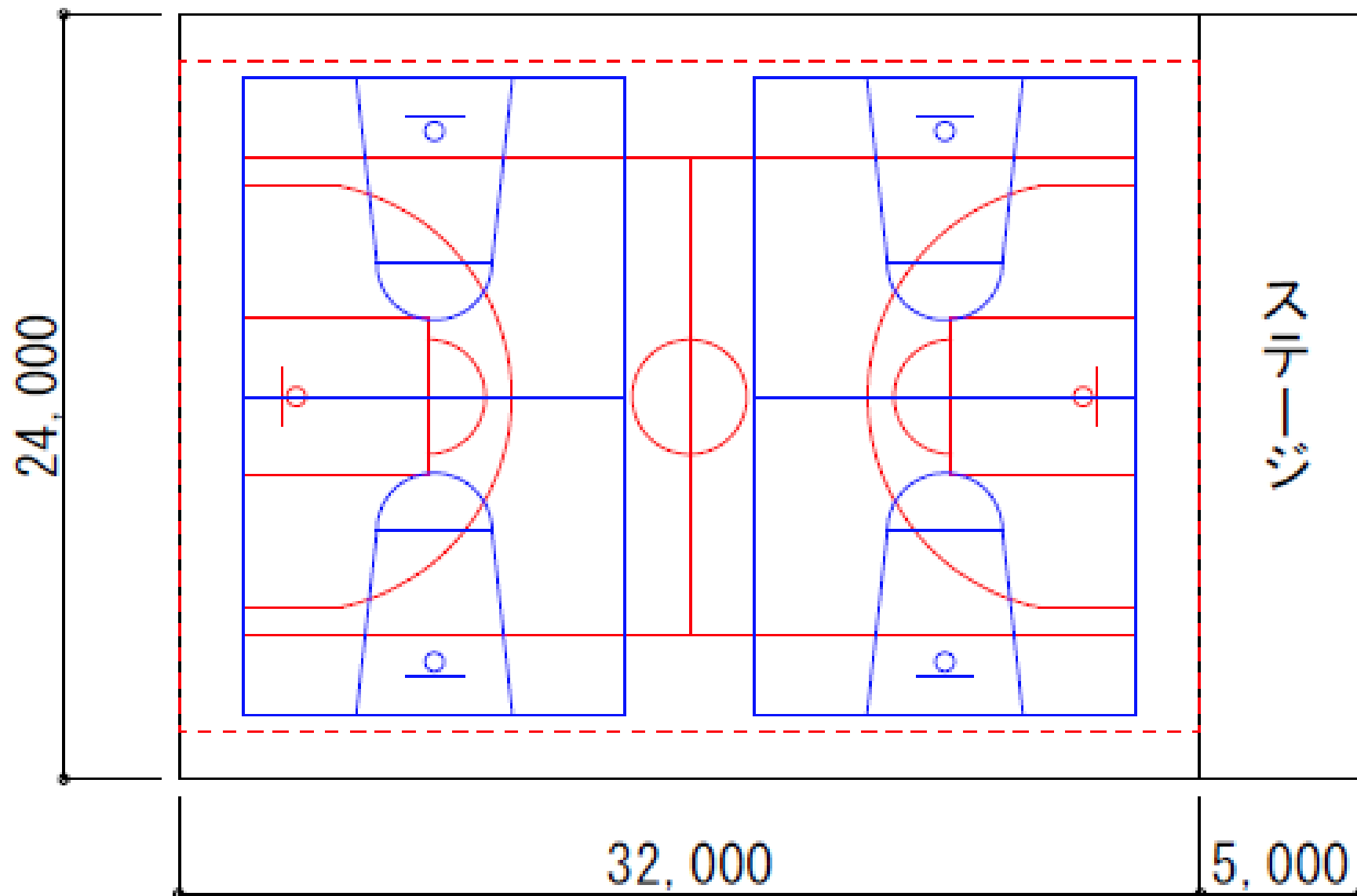
20,700

$$20.70 \times 26.85 \\ = 555.795 (\text{m}^2)$$

ステージ

体育館

計画案 $24.0 \times 32.0 = 768.0 (\text{m}^2)$



体育館

計画案 $24.0 \times 32.0 = 768.0 (\text{m}^2)$

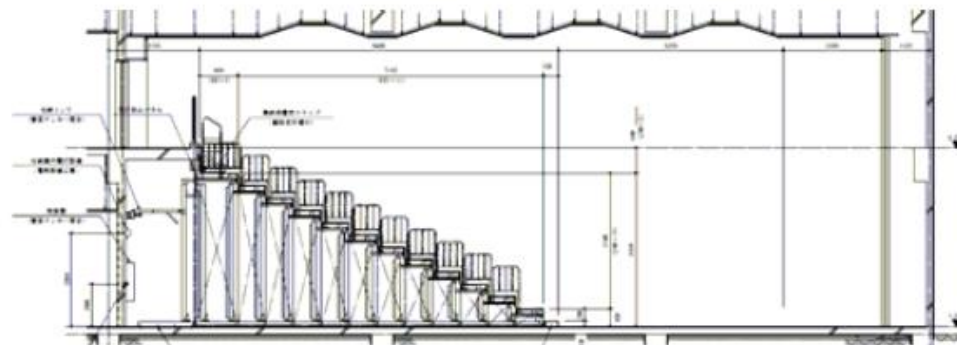
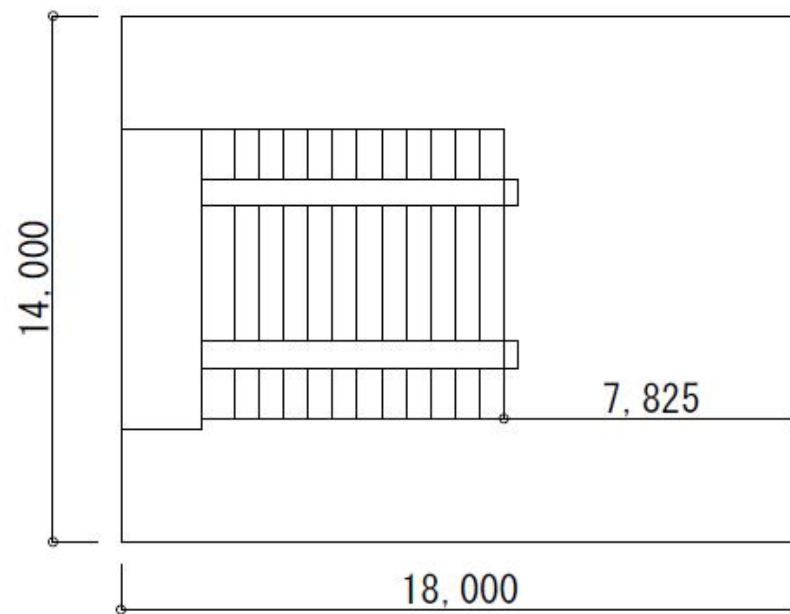


6 学年 4 クラスが着座した場合

多目的室(ホール)の広さや設え

多目的室(ホール) 【横芝中学校】

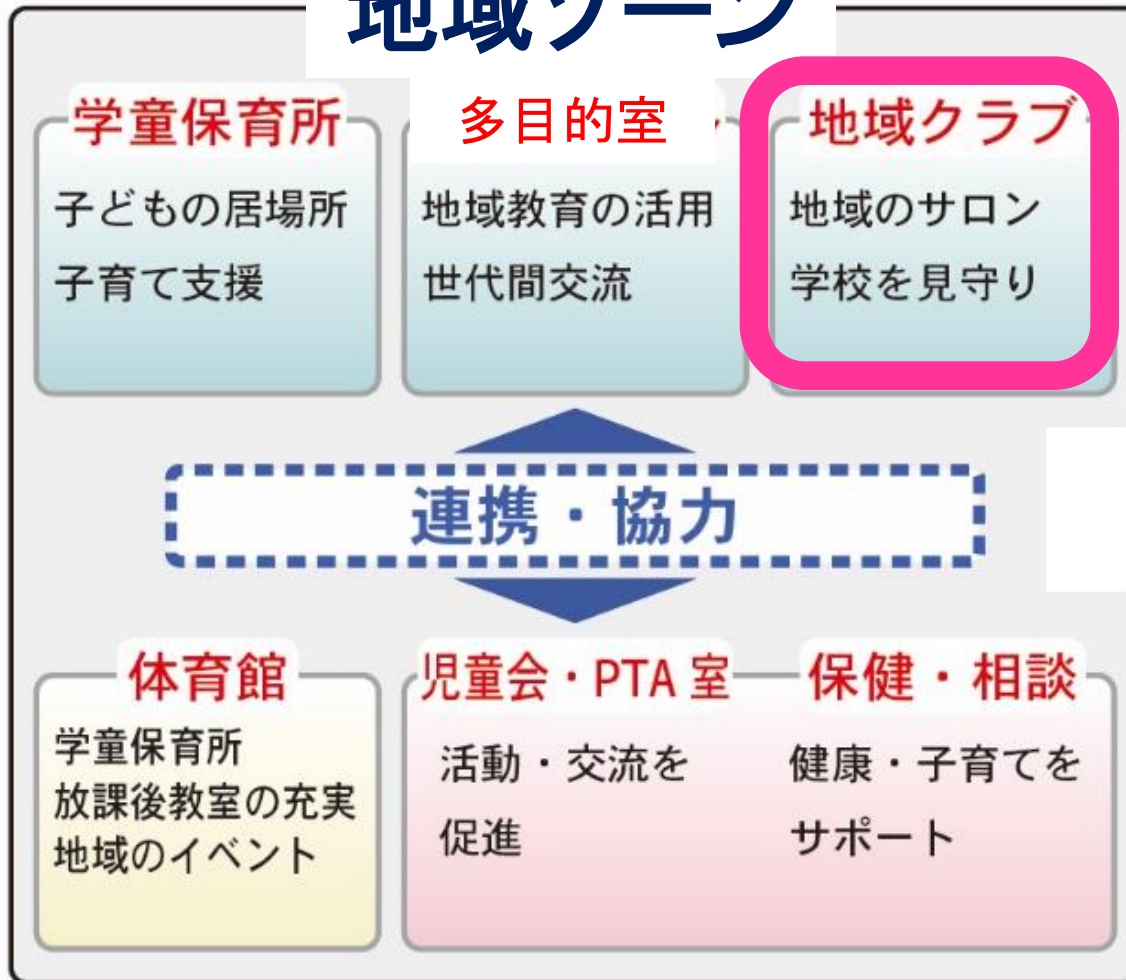
一人当たり : W450
座席数 : 168人



学校を支援する地域の方の居場所



地域ゾーン



交流の核

何時でも誰でも
利用できる



学校を支援する
地域の方の
居場所

○活動のイメージ(これまで出された意見)

- ・朝の登下校ボランティアの活動拠点
- ・地域交流の場の確保、
- ・子どもとお年寄りのふれあうスペースの確保
- ・同窓会室の設置

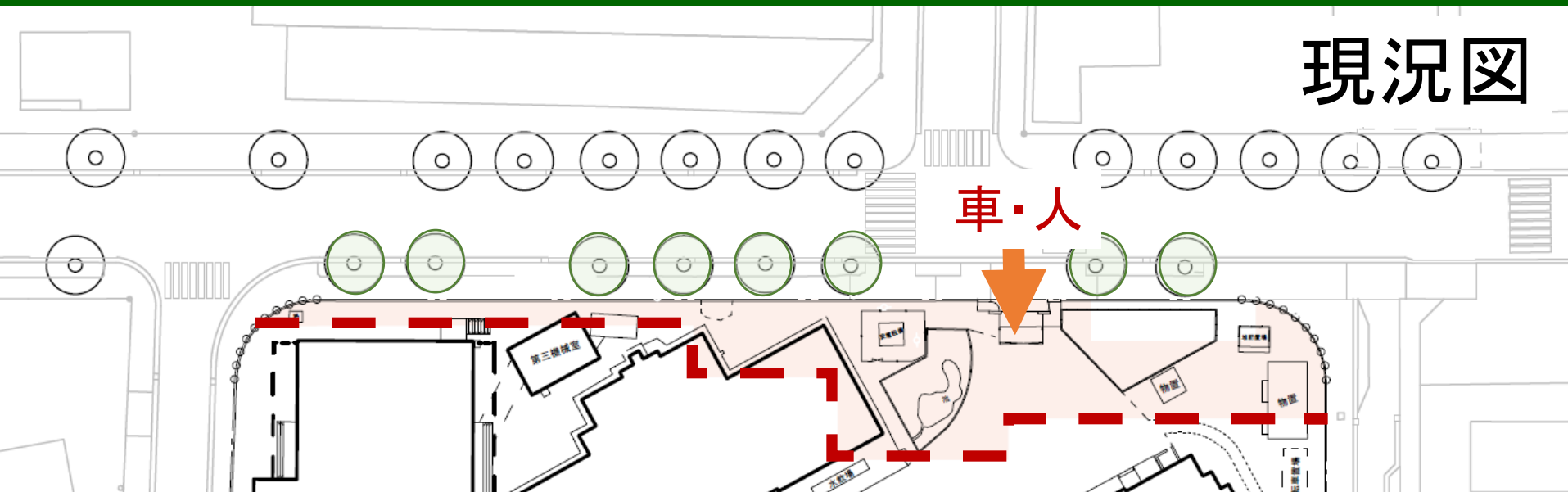
○課題点(ワークショップでの意見)

- ・不特定多数の方が出入りすることに対する不安

屋外空間 【北側道路・屋上利用・ビオトープ等】

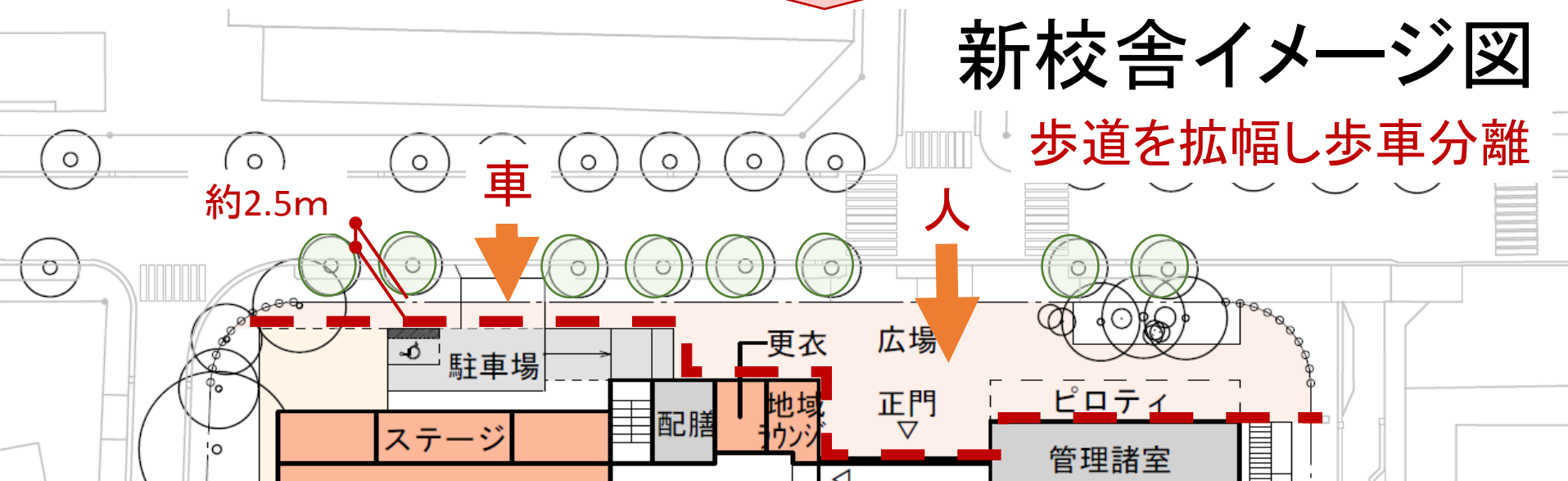
屋外空間【北側道路について】

現況図



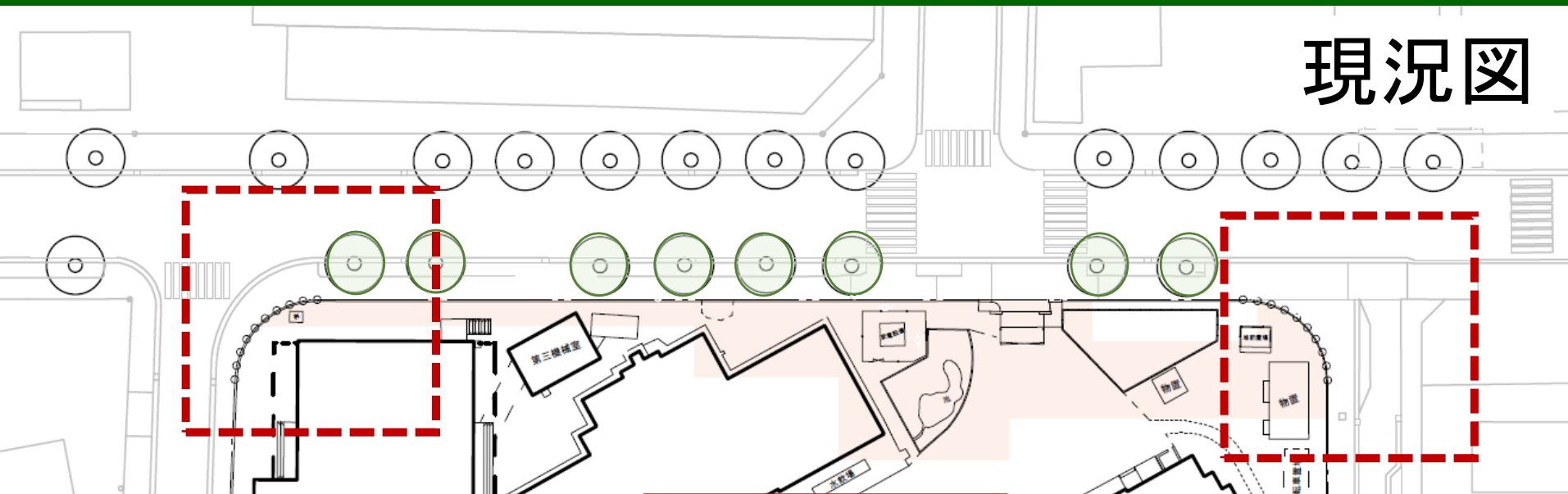
新校舎イメージ図

歩道を拡幅し歩車分離



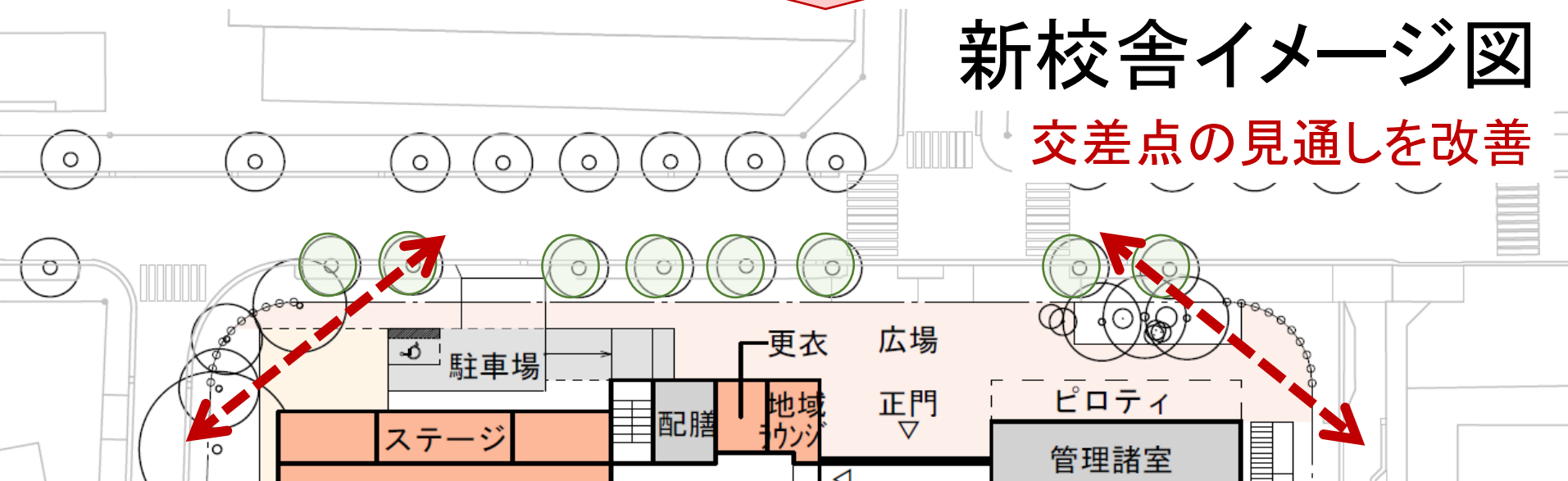
屋外空間【北側道路について】

現況図



新校舎イメージ図

交差点の見通しを改善



屋外空間 【北側道路について】

歩道を拡幅のイメージ



屋外空間 【屋上庭園】



屋上緑化



屋上菜園・ビオトープ

屋外空間【屋上庭園】



↑屋上菜園・理科テラス

←各階のテラス

屋外空間【ビオトープ等】



↑植樹祭の様子

←↑ビオトープ



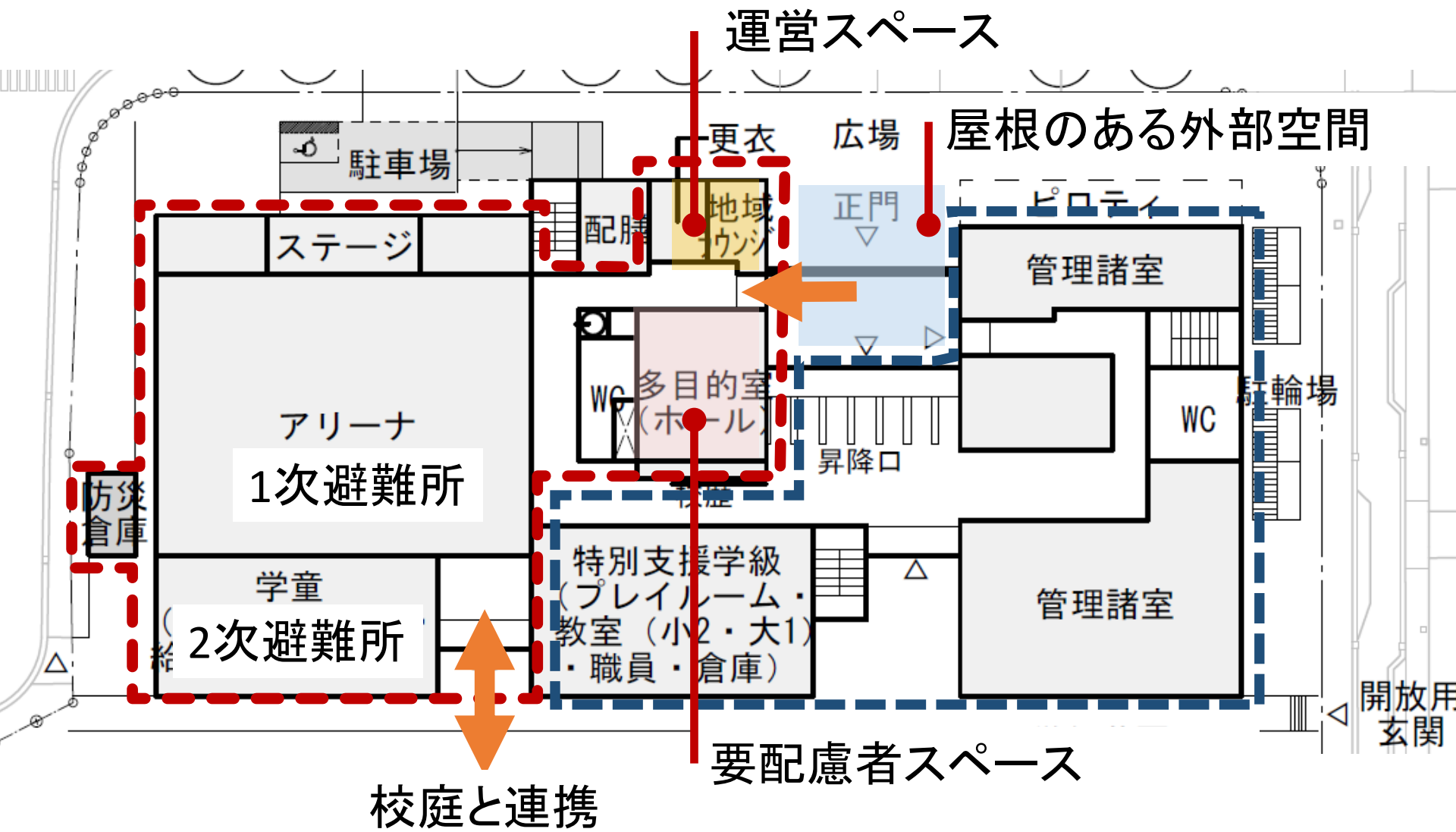
防災拠点

防災拠点【避難所のゾーニング】

	社会的状況	必要と考えられる機能		
		学校施設の基本的な条件	避難所として必要となる機能(非常用)	避難所として必要なスペース
救命避難期 (避難直後)	災害の発生 ライフライン・ 情報通信の途絶	耐震性 (非構造部材の耐震対策を含む) ・耐火性	情報通信	居住スペース・運営スペース
生命確保期 (数日程度)	救援物資の到着			
生活確保期 (数週間程度)	ライフライン・ 情報通信の漸次復旧			
教育活動再開期 (数か月程度)				
		バリアフリー・断熱性	電源・ガス・トイレ	炊き出しスペース・着替えスペース
			食料・飲料等の備蓄	障害のある児童生徒・高齢者・妊産婦・ 感染症患者等の専用スペース
				救援物資保管スペース

出典：災害に強い学校施設の在り方について～津波対策及び避難所としての防災機能の強化～より

防災拠点【避難所のゾーニング】

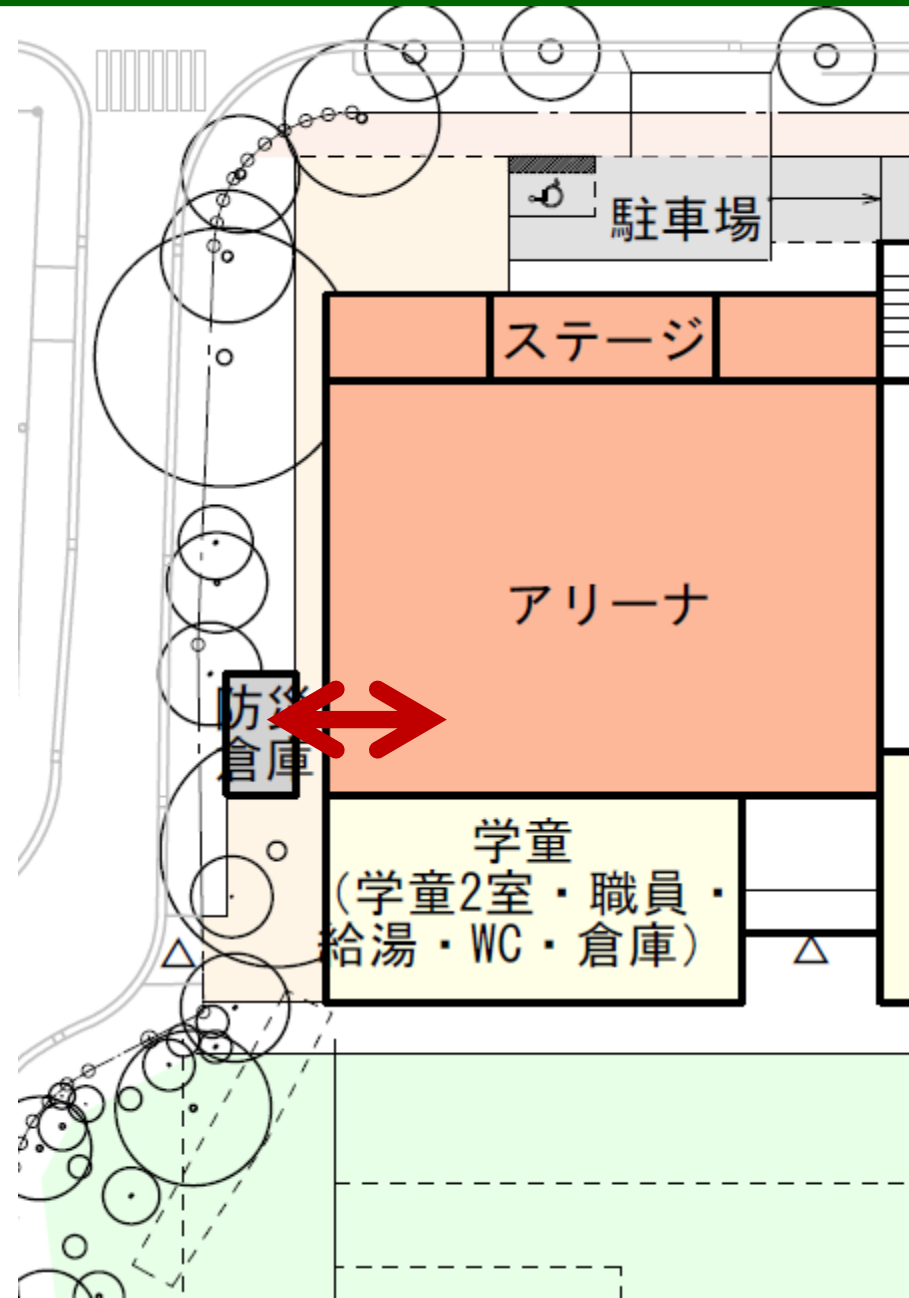


□ 避難所エリアをまとめたゾーニング

□ 学校エリア

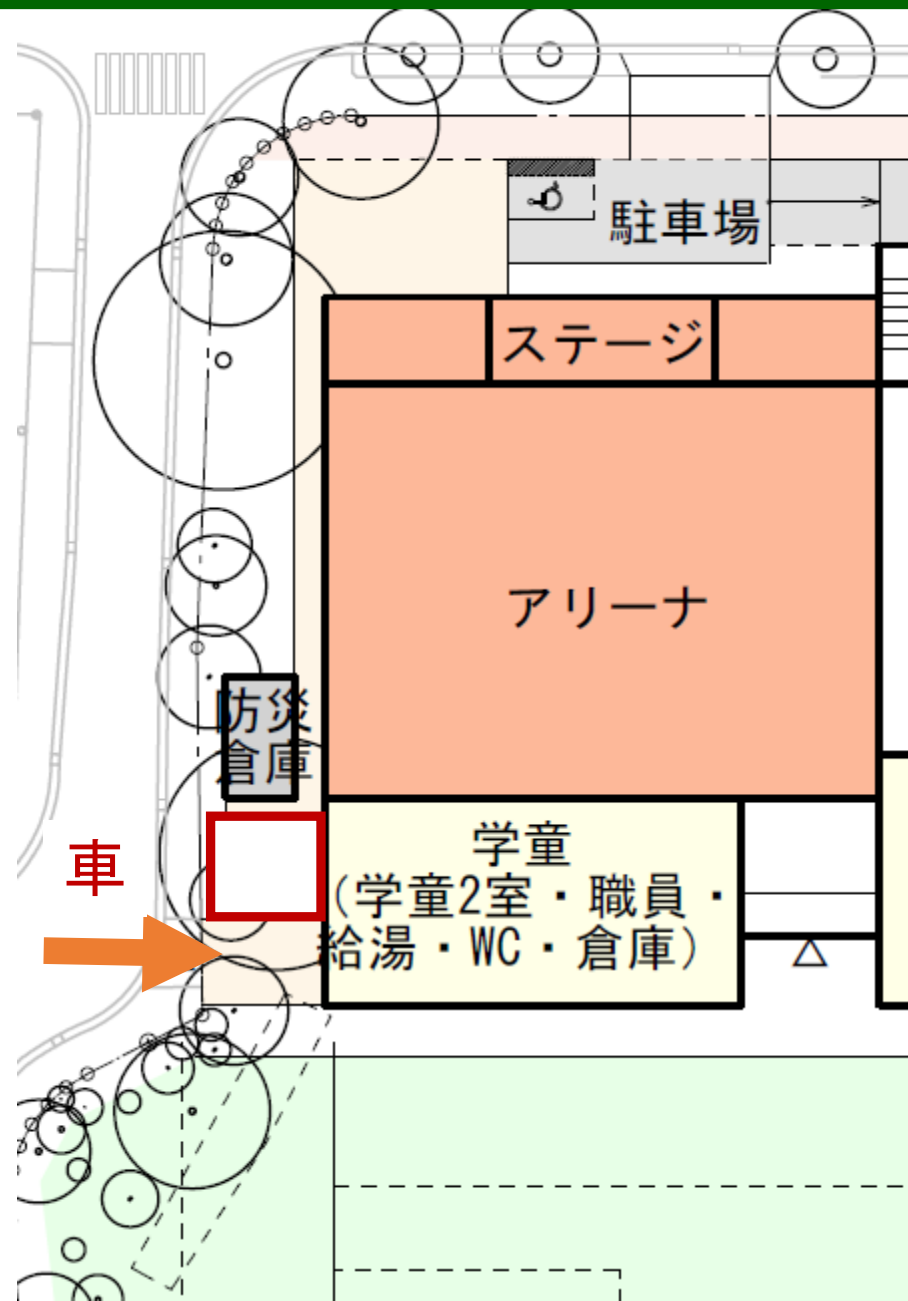
防災拠点 【防災備蓄倉庫】

- ・アリーナに近接して配置
- ・定期的な備蓄の入れ替え作業スペース
- ・車が寄り付けるスペース
- ・既存マンホールトイレに近接した位置



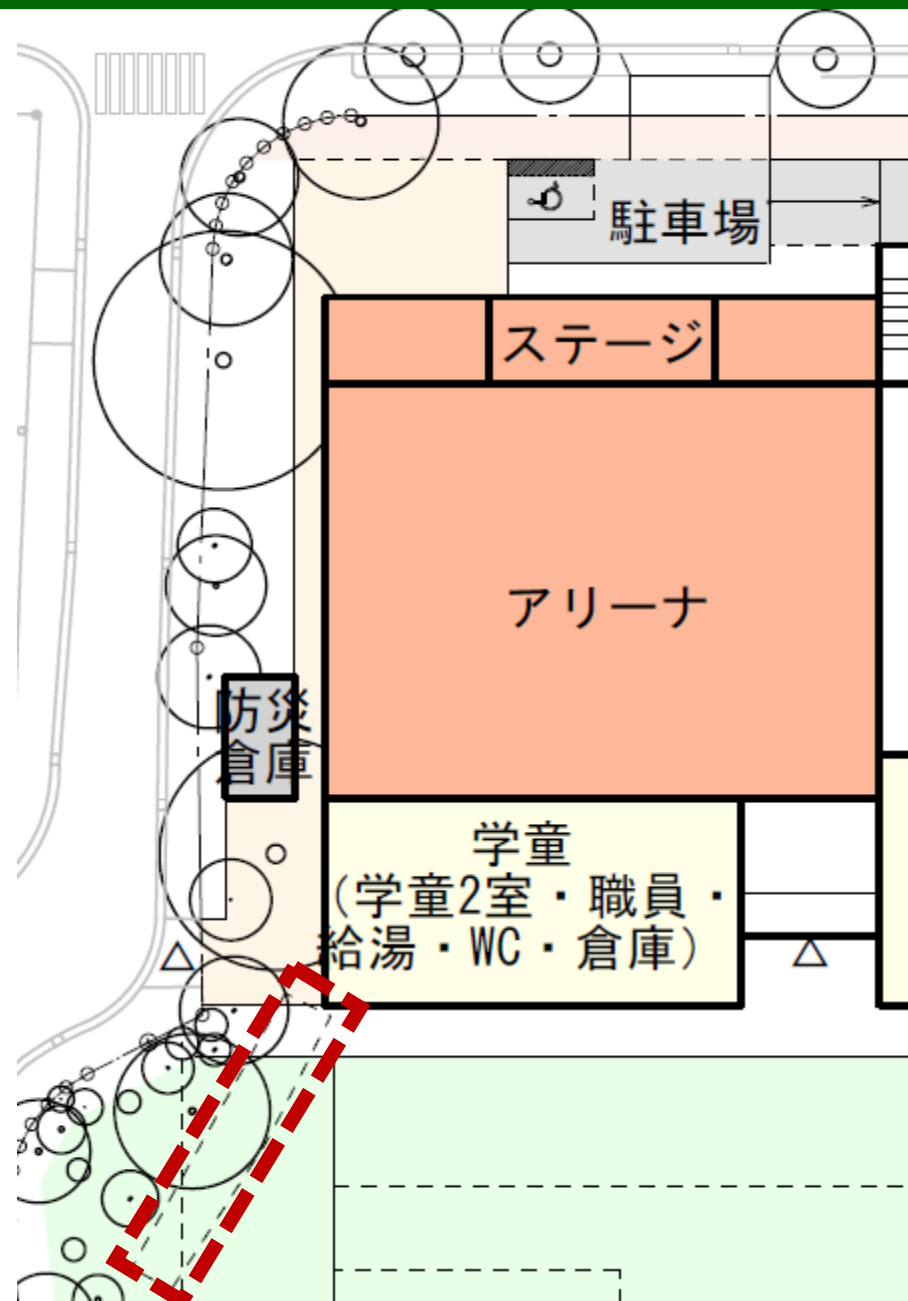
防災拠点 【防災備蓄倉庫】

- ・アリーナに近接して配置
- ・定期的な備蓄の入れ替え作業スペース
- ・車が寄り付けるスペース
- ・既存マンホールトイレに近接した位置



防災拠点 【防災備蓄倉庫】

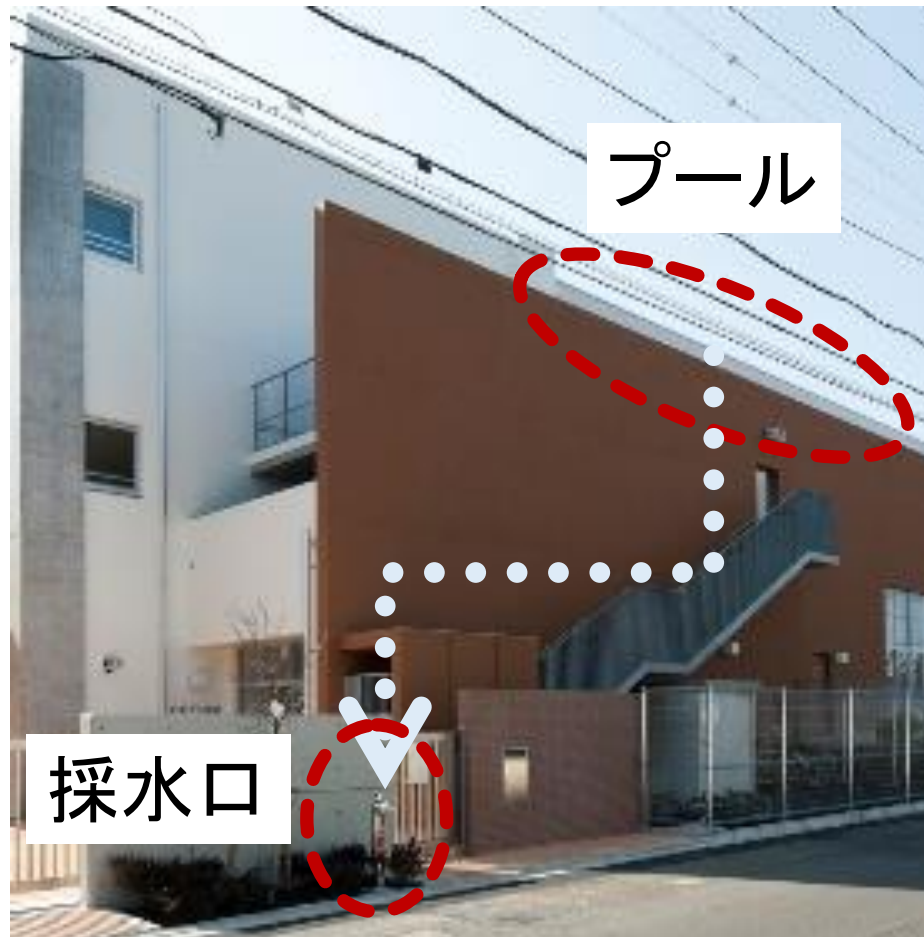
- ・アリーナに近接して配置
- ・定期的な備蓄の入れ替え作業スペース
- ・車が寄り付けるスペース
- ・既存マンホールトイレに近接した位置



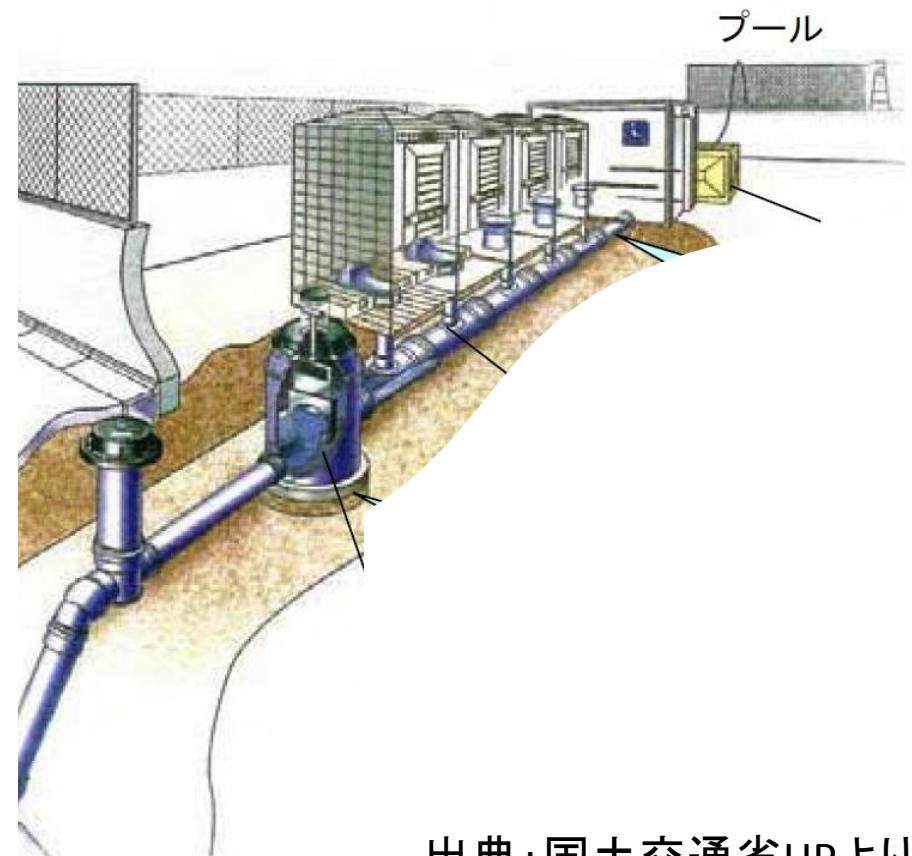
防災拠点【プール水の利用】

屋上プール水の有効活用

・消火に利用した例



・トイレ洗浄水に利用した例

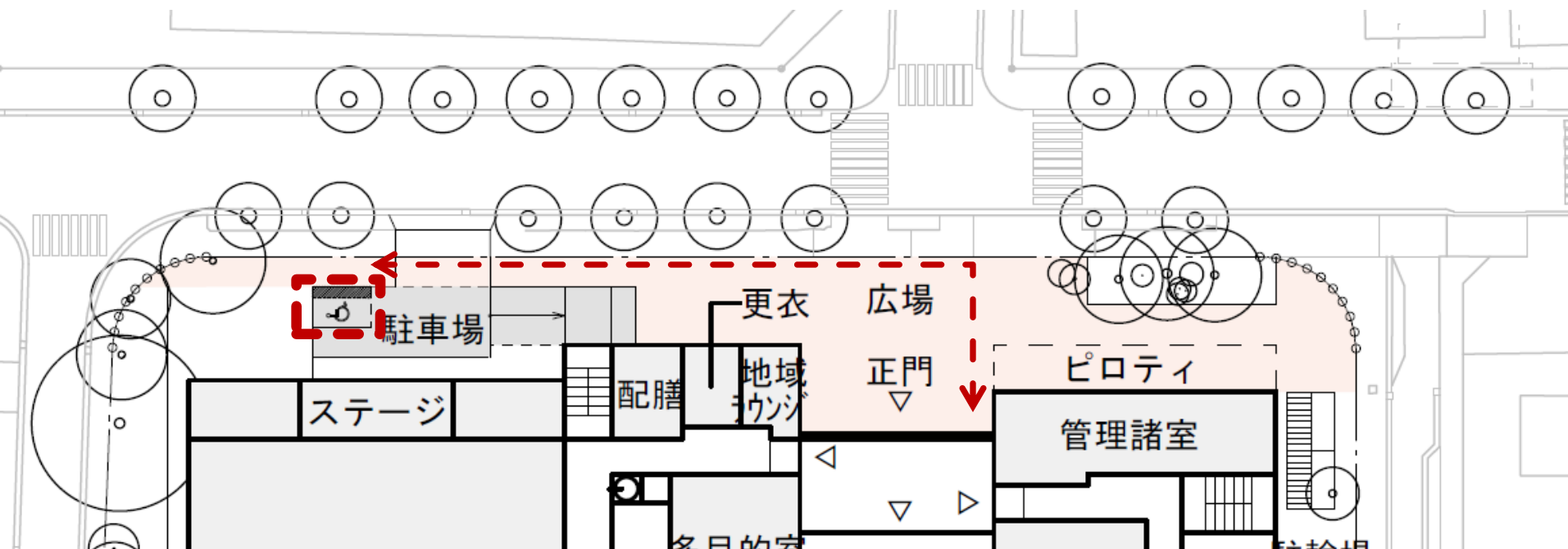


出典：国土交通省HPより

バリアフリー

バリアフリー

○車いす用駐車場から正門までのルート



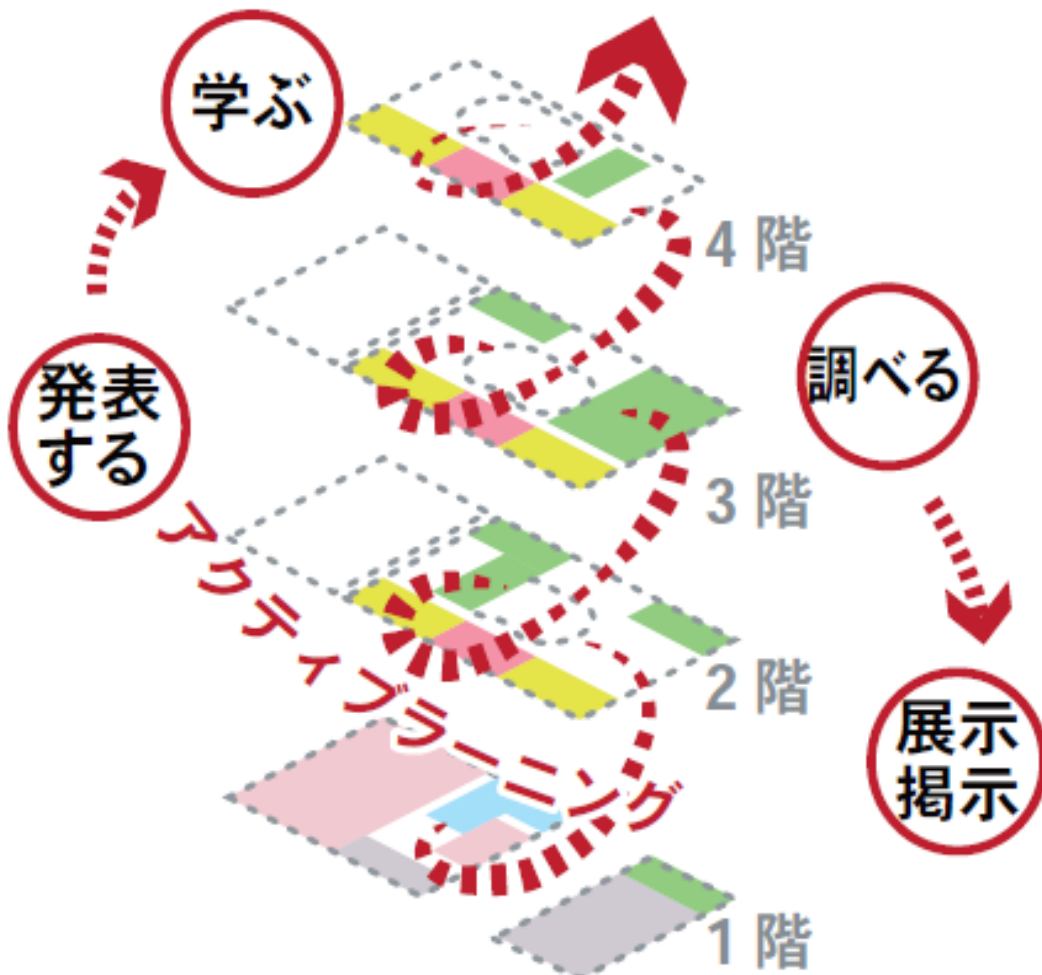
バリアフリー 【多目的便所】



- 車いす利用
- オストメイト
- 骨折時などの対応

学びの空間

A 学びの空間として大切にしていること



学ぶ	多機能・高機能な教室廻り ワークスペース、外の教室 自然観察、動物広場
調べる	メディアセンター ICT、理科テラス、自然観察、 動物広場、農の広場
展示 掲示	廊下、メディアスペース オープンスペース、 学校情報コーナー
発表 する	体育館、多目的ホール ワークスペース、外の教室

A 学びの空間として大切にしていること



生活空間

B 生活空間として大切にしていること

子ども達の居場所づくり

- ・学校全体にパオやDENなど、子どもの身の丈に合った小さな空間から多目的ホール等、大きな空間までをつくります。友達同志のコミュニケーションや休み時間にリラックスできる居場所となります。



ちいさな居場所DEN

清潔で楽しいトイレ

- ・清潔で楽しいトイレで、健やかな成長を促します。アイランド型の洗面コーナーは、休み時間のコミュニケーションスペースとなります。
- ・低学年～高学年の身体の高さを考慮したしつらえや機器選定をします。



清潔で明るいトイレ

木質化で潤いのある生活環境

- ・木材を「手で触れる部分、天井材、家具」等に効果的に使用し、木視率30%以上を目標に、潤いのある健康的な空間を作ります。
- ・多摩産材を使用し、林業の流れ等を学ぶきっかけをつくり、教育に資する木材利用を図ります。



木の潤いのある内装

安心安全な校舎

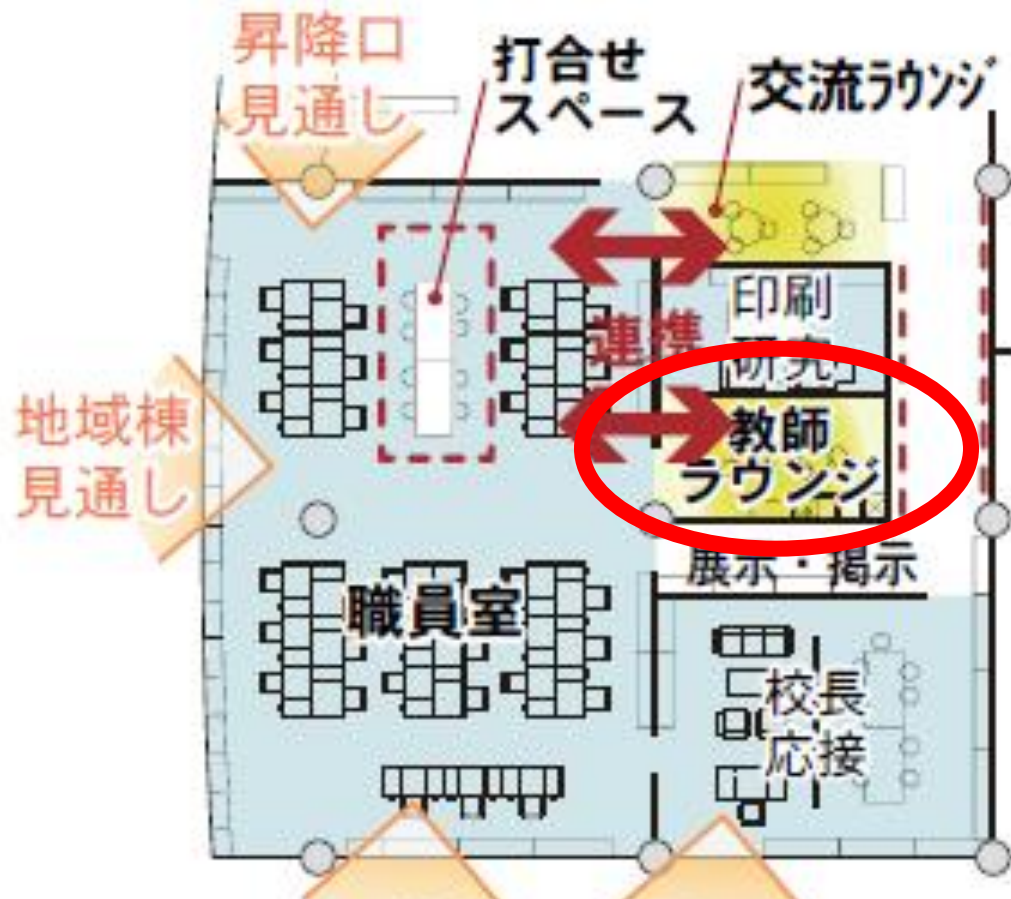
- ・文部科学省「学校安全の推進に関する計画」に基づき、「安全安心」な校舎をつくります。他校での事例や当社の蓄積した安全設計データを活用し、きめ細やかに子ども達が「安全安心」に生活できる環境をつくります。

箇所	危険箇所	対策方法
教室	窓からの転落	落下防止手摺の設置
	指はさみ	安全ゴムの設置
廊下	人と衝突	見通しの良い廊下 コーナー部の見通し確保
	濡れて滑る	防滑型床材 転倒時の安全確保
階段	吹抜け部 転落	手摺高さ1500確保 転落防止ネット設置
	転倒	段鼻には目立った材料選定
ガラス	破損	飛散防止フィルム貼り
	ガラス飛散	安全ガラスの選定

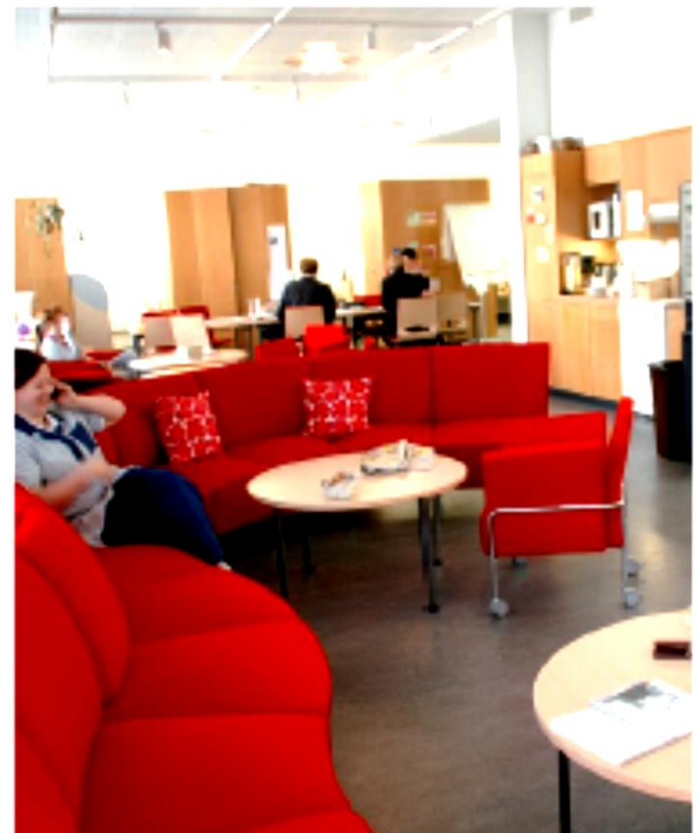
安全設計データシート（抜粋）

教職員の空間

C 教職員の空間



写真や図はプロポーザル提案資料のイメージです



教師ラウンジ

IV 学校づくりの理念・ 建設方針案

学校づくりの理念

学校づくりの理念と 4つのコンセプト

学校づくりの
理念

思う存分体を動かし
様々な体験ができる
学校づくり

学ぶ楽しさ
教える喜びが
実感できる
学校づくり

共に学び
共に育つ
学校づくり

明日また
行きたくなる
楽しい学校づくり

地域をつなぎ
未来を拓く
学校づくり

建設方針について ①

■学ぶ楽しさ、教える喜びが実感できる学校づくり (学習環境について)

- ・教室数は各学年3クラスとし、児童数が増えることを想定し、多目的教室を複数設ける。
- ・普通教室は自然採光、自然通風に配慮する。
- ・教室廻りに収納スペースを充実させる。
- ・特別支援学級については、若葉小の現状のスペースを踏まえた設えとする。
- ・教職員の動線等に配慮し、働く環境を整える。
- ・表現する力を身につける教育をサポートする発表の場の空間づくりを行う。
- ・外国語活動が充実できる空間づくりを行う。

建設方針について ②

■思う存分体を動かし様々な体験ができる学校づくり(屋外学習環境について)

- ・校庭は、現在の若葉小(7,300m²)、けやき台小(5,800m²)より広い面積を確保する。
- ・校舎は、広い校庭を確保しつつ、建物全体の面積を踏まえ、4階建とする。
- ・プールは、敷地の有効利用の観点から、建物屋上に設けることとする。
- ・学級菜園や農作業ができるスペースを設ける。
- ・地域の利用も踏まえ野球、サッカーができる寸法・設えとする。

建設方針について ③

■明日また行きたくなる楽しい学校づくり (生活空間・安心安全について)

- ・トイレは全て洋式とする。
- ・普通教室、特別教室、管理諸室等には空調機を設置する。
- ・学年を超えた交流空間を設ける。
- ・防音性に配慮した教室等の配置を行なう。
- ・校舎北側の道路から通学する児童の安全を確保する。
- ・校舎全体に目の行き届く空間づくりを行なう。
- ・駐車場の出入口は児童の出入口と離して設ける。

建設方針について ④

■地域をつなぎ未来を拓く学校づくり (複合施設・地域連携・防災拠点について)

- ・学童保育所は、学校と複合化する。学童保育所の定員は90名とする。
- ・学校を支援する地域の方々が集える空間を設ける。
- ・防災拠点となる施設づくりを行う。耐震安全性を高めた施設とする。
- ・備蓄倉庫を体育館と連携した位置に配置する。



建設方針について ⑤

■その他

- ・1,2学年は35人学級、3～6学年は40人学級とする。
- ・給食は共同調理場からの配食方式とする。
- ・バリアフリーな校舎としてEV・多目的便所を設置する。
- ・駐車場は車椅子用、給食搬入、備品搬入用の駐車場を設ける。
- ・両校の記録を残すための展示等のスペースを設ける。
- ・環境を考慮した設備を設ける。
- ・ランニングコストを配慮した施設とする。

V 配置案

(模型で説明します)

VI （平成30年度からの） 仮設校舎について

仮設校舎

概要

- ・平成30年4月にけやき台小学校と若葉小学校を統合し、新学校を設立します。
- ・新学校の校舎は、平成30年4月から平成33年3月までの3年間、若葉小学校の既存校舎と若葉小学校の校庭の一部を使って建設する仮設校舎を暫定的に使用します。
- ・この間、けやき台小学校を解体し新校舎を建設し、平成33年4月に新校舎に移転します。

仮設校舎

新学校設立までの仮設校舎のスケジュール

平成29年				平成30年			
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
設計 →							
	説明会						
		工事 →					
						引越し	
							新学校 スタート →

仮設校舎

教室等の配置案

建物	配置予定の教室等
若葉小学校の既存校舎	・管理諸室（職員室、校長室、保健室、事務室ほか） ・普通教室 ・特別教室 ・たんぽぽ学級
若葉小学校の校庭の一部に建設する仮設校舎	・学童保育所（定員：60名） ・特別支援教室キラリ ・生活科室 ・PTA室 ・倉庫

仮設校舎

第八小学校の校庭内に建設した仮設校舎



普通教室



トイレ

仮設校舎

校庭

- ・校庭は現状より狭くなります。今後、配置等の設計を進めるうえで、体育授業に影響が生じないように検討します。
- ・仮設校舎を建設する平成29年11月から平成30年2月までは工事車両の搬入等のため仮囲いを設けます。